

休日当番病・医院

2月26日(日)

- ◆内科 苦小牧消化器外科 51-6655
北栄町
◆外科 苦小牧消化器外科 51-6655
北栄町
◆歯科 くまざわ歯科医院 61-7711
美原町

診療時間：内科・外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時
本紙は、毎週火曜日に編集しますので、その後に休日当番医が
変更になってもお知らせすることはできません。
ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談



3月24日(金)
川上 有 弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

日本共産党
民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議団ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

◆日本共産党は、大軍拡・大増税許さず、命と暮らしを守る政治実現に全力を尽くします



山田さんは、自身が行きし
ぶりがたった経験から、「友達
ができない、学校に行けない、
保護者には不登校などの相談にの
つてもらえるスクール・ソー
シャルワーカー(SSW)の
存在も知らない。もっと情報
共有が必要」と指摘。SSW
や子どもの居場所を知らせる
チラシを配布したり、町内会
や民生委員、PTAなどにも

市内の教職員や保護者、市
民有志で活動する「子どもた
ちの幸せを願う教育の会」は
19日、「不登校、いろいろな
居場所」と題し、不登校の子
どもたちの実態と支援、つな
がりを考える、学習イベント
をアイビープラザで開催しま
した。29回目。講師は、紙の
街の小さな新聞「月刊ひらく」
を発行している記者の山田香
織さん。

『ひらく』の取材を通して、
学校や先生、保護者がさまざ
まな子どもの居場所があるこ
とを知らないために悩んでい
ることを痛感したとし、「保
護者には不登校などの相談にの
つてもらえるスクール・ソー
シャルワーカー(SSW)の
存在も知らない。もっと情報
共有が必要」と指摘。SSW
や子どもの居場所を知らせる
チラシを配布したり、町内会
や民生委員、PTAなどにも

知ってもらおう横断的な取り組
みが求められると強調しまし
た。保護者が安心して相談で
きる窓口を市教委内に設置す
ることも必要だと話します。
市教委は、4月から不登校
児童・生徒の居場所としてフ
リースクールを開始し、校長
の判断によって学校の出席扱
いにもなります。山田さんは、
フリースクールの内容を学校
が把握し、適切に保護者に紹
介できる仕組みづくりも必要
だと言います。

意見交流もされ、参加した
教員は、定時制高校に通う生
徒の半数以上は、小中学校時
代に不登校だったことがあ
り、中学校で200日欠席し
ていても、定時制では皆勤賞
で卒業した生徒がいると紹介
し、通信制の高校に通うこと
も多いと報告しました。

自分の子どもが不登校だつ
たと話す母親は、「子どもの
進路先についてギリギリまで
教えてもらえなかった。小学
生の段階からいろいろな情報
を伝えてもらっていたら、こ
んなに悩まなかった。親の安
心という広い視野で考えてほ
しい」と強調しました。



だから自分が恥ずかし
い。自分を見られたく
ない、そう思ってしまった
う。今考えると、社会
がそういう雰囲気をつ
くっていることに気づ
いた」と話し、その雰
囲気をなくすために
は、学校や保護者だけ
ではなく、地域で考え
る必要があると訴えま
す。

苦小牧市内には子どもの居
場所を提供してくれている所
が複数あり、それぞれが個性
的な取り組みをしていると詳
しく紹介。「いろいろな個性
的な取り組みがあるからこ
そ、それぞれの子どもに(は
まる)ところがある」と言い
ます。

意見交流もされ、参加した
教員は、定時制高校に通う生
徒の半数以上は、小中学校時
代に不登校だったことがあ
り、中学校で200日欠席し
ていても、定時制では皆勤賞
で卒業した生徒がいると紹介
し、通信制の高校に通うこと
も多いと報告しました。

自分の子どもが不登校だつ
たと話す母親は、「子どもの
進路先についてギリギリまで
教えてもらえなかった。小学
生の段階からいろいろな情報
を伝えてもらっていたら、こ
んなに悩まなかった。親の安
心という広い視野で考えてほ
しい」と強調しました。

子どもを孤立させない取組み様々あり情報共有を

教育の会学習会

山田記者迎え「不登校の居場所」考える

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

教員不足に多忙拍車 担任不在も

宮川道議 欠員の現状と増員対策求める



山下幹雄教職員課長は、4
月1日現在で、正規教員の不
足は874人(札幌市以外)
で、期限付き(非正規)教員
を821人採用したが、53人
欠員あること、免許外の教科
担当が中学校679件、高校
136件あることを明らかに
しました。

伊賀治康教職員局長は「教
員志願を増やすため、教職の
魅力を発信していく。国に定
数増を求める」と答弁し、池
野敦教育部長は「働き方改革
の推進など、新しい時代が求
める教育を着実に推進し、基
本理念の実現に努めたい」と
のべました。



75歳以上医療保険料を引上げ

24年度実施を閣議決定

命守る国の責任後退

岸田政権は10日、75歳以上の中間所得層以上を対象に、医療保険料を2024年度から段階的に引き上げること盛り込んだ健康保険法などの改定法案を閣議決定しました。今国会での成立を目論んでいます。

これとは別に高齢化などにもなる保険料増も計画しているため、合計で加入者1人当たり年平均で1万円近い負担増となります。政府は、少子高齢化で財政が厳しく、年齢によらず収入に応じた負担の仕組みを強めるとしています。

年収153万円を超える75歳以上の人が対象で、同世代の4割を占めます。世論の批判に押され、年収153万円

民健康保険料(税)の大幅引き上げにつながる「保険料水準の統一」の加速化プランを策定させることも盛り込んでいます。

在宅・夜間対応などの「かかりつけ医機能」を都道府県が報告を受けて公表する仕組みを新設します。財務省が、かかりつけ医を制度化し、そ

安心して病院にかかれる施策を

後期高齢者医療議会 共産党が負担軽減求める

北海道後期高齢者医療広域連合議会の2023年第1回定例会が13日、札幌市内で開かれ、日本共産党の遠藤春子議員(比布町議)と野村淳一(紋別市議)が質疑、討論をしました。

医療費の窓口負担2割化の強行、物価高騰などで高齢者の生活がいつそう苦しくなるなか、後期高齢者の健康を守る施策を進め、新たな負担を許さないことが求められています。

野村議員は、「電気代、灯油代だけでも年金の半分がなくなる」という高齢者の窮状を紹介。政府が狙っている後

れ以外に受診した際の患者負担増を再三迫っている経緯があり、慎重な議論が求められます。

生業と暮らし守るために
インボイス
実施中止を
日本共産党



大軍拡ストップ

国会かけある記 いわぶち友と

参議院には3年かけて一つのテーマを深掘りする「調査会」というものがあります。私は今期から「外交・安全保障に関する調査会」に所属しています。テーマに沿って参

考の方々に意見をのべてもらい質問をします。「戦争防止のための要件」をテーマにした回(8日)に、参事人として元海上自衛隊の自衛艦隊司令官の香田洋二さんが来られました。「しんぶん赤旗」の新春インタビューで志位さんがその発言

政治に春をよぶつどい

カジノミクスから優しく強い経済に
講師 **大門 実紀史** さん
◆日本共産党前参議院議員(参加料 300円)
●3月18日(土) 午後2時
●苦小牧市民会館 小ホール
※マスク着用を
主催: 政治に春をよぶつどい実行委員会
TEL 0144-56-5002



た目標強化や、都道府県に国



東アジアでの緊張緩和と対話を質問(外交安保調査会15日)

岩淵友(いわぶちとも)さんを紹介している方です。昨年末に安保三書が閣議決定されたのち、朝日新聞に「防衛費増額への警鐘 身の丈を超えている」というインタビューが掲載されています。私が「身の丈を超えている」とはどういうことか? と質問すると、「軍拡や防衛費の増額は必要だ」としたうえで、「高齢化社会を迎えるなかで、日本の経済力、技術力、社会構造を考えたときに、ちよつと度を超えているんじゃないか。防衛省がやろうとしているミサイル開発が日本のできるのか。国を守ろうとして社会の体力を奪ってしまうのではないか」と言うので

日本共産党は、トルコとシリアにまたがる大地震で緊急支援募金を受け付けています。